

会議録

会議の名称	令和3年度 第2回清須市行政改革推進委員会（書面会議）
開催日時（期間）	令和3年12月10日（金）～12月22日（水）（意見提出期間）
開催場所	—
議 題	行政評価結果を踏まえた事務事業の見直し・改善について
会 議 資 料	資料1 行政改革推進委員会（第1回）における主な意見と意見に対する考え方 資料2 令和3年度行政評価結果（修正後） 資料3 第7回（令和3年度）市民満足度調査の速報値
公開・非公開の別 （非公開の場合はその理由）	—
傍聴人の数	—
出席委員	野田委員(会長)、齊藤委員、角委員、綱島委員、永井委員、山田委員、高山委員、西川委員、上田委員
欠席委員	なし
出席者（市）	—
事 務 局	（企画部企画政策課） 後藤次長兼課長、杉原課長補佐、炭竈係長、西田主任
<p><b>1 議事 行政評価結果を踏まえた事務事業の見直し・改善について</b></p> <p>7月に開催した第1回行政改革推進委員会においては、令和3年度行政評価（令和2年度対象）に係る外部評価として、評価の妥当性・客観性の確保を主眼に、ご意見等の聴取を行ったところです。</p> <p>第2回委員会では、第1回委員会にて聴取したご意見に対する事務事業の見直し・改善に向けた市の今後の考え方について、書面により意見聴取を行いました。</p>	
<p><b>2 回答結果（会長を除く委員8名）</b></p> <p>(1) 意見あり 3名 (2) 意見なし 5名</p>	
<p><b>3 提出意見</b></p> <p>別紙「行政改革推進委員会（第2回）における意見」のとおり</p>	
問い合わせ先	企画政策課 電話 052-400-2911（内線3211）

## 令和3年度行政改革推進委員会（第2回）における意見

## 1 「施策 203 学校教育の充実」について

- ① 施策の展開 2 について、子供の自傷行為の低年齢化が急速に早まっていることの背景に、コロナによってコミュニケーション不足の拡大が大きく影響していると推測できます。  
家庭だけでは足りていなかった関わりを、近所や学校などで補っていたものが、今ではそのような場が失われつつあります。いろいろな角度から支援ができる体制づくりをお願いします。
- ② 施策の展開 5 について、特別支援員の増員に加え、より良い支援が行き渡るための養成講座などの必要性を感じています。近隣では、名古屋市などが発達障害・学習障害における専門家の介入を積極的に行っており、清須市でもそのような取組を行ってほしいと強く願います。そうすることによって、将来的に1人でも多くの子供たちの自立に繋がっていくのではないかと思います。
- ③ 施策の展開 10 について、特別支援学級や不登校に対する教育現場の理解が広がり、深まっていると感じ、子育て世代として嬉しく思います。低学年では勉強・集団行動など学校での生活習慣、中学年では友達との関わり方、高学年では自立や中学生に向けた学習など、成長段階における様々な心の動きに対しサポートしていただける先生方と出会えることは大きいと感じています。家庭では行き届かないサポートや学校生活の中での見守りなどをお願いするとともに、就学に困難のある子が、学校に通いやすくなるサポートを続けていただけると幸いです。

## 2 「施策 302 地域福祉の充実」について

- ④ 施策の展開 5 について、ボランティアを行う中で周知を必要とする活動があります。ボランティアのため、周知に関する資金の捻出も容易ではありません。そのような中、公共施設へのチラシの張り出しや配布などの周知に協力が得られれば、これまで以上に活動しやすくなると思います。事業による選別の難しさもあると思いますが、情報発信への協力などにより活動の幅が広がると思います。
- ⑤ 現代において、人との繋がりはとても大切なことだと感じます。その方法に偏りがなく、様々な方向に光りが当たるような繋がりを創出するための具体策を含め、システムの構築や情報の収集をお願いしたいと思います。

## 3 「施策 702 広報・広聴活動の充実」について

- ⑥ 施策の展開 2 について、行間や一文の長さを減らすなど、文字だらけに感じさせないレイアウトの工夫やカラーの使い方を意識することによって、改善される点はたくさんあると思う。
- ⑦ 広報紙は、自分自身が毎回とても楽しみにしており、内容の充実など幅広く告知することが可能な有効な手段であると思っています。作成や立案などとても大変なことだと思いますが、情報提供の有力なツールとして期待しております。